

# 魅力的な情報リテラシー教育 方法・手段の観点から

9班

私たちは  
学生が学んだ知識・情報  
を主体的に活用できる  
ようになって欲しい

だけど・・・

ガイダンス・授業・講習会・オリエンテーションで  
学生が

つまらなそう  
ムダ話をしている  
寝る

なぜつまらない  
のでしょうか？



環境の問題

学生の問題

講師の問題

場所の制約

受講人数の制約

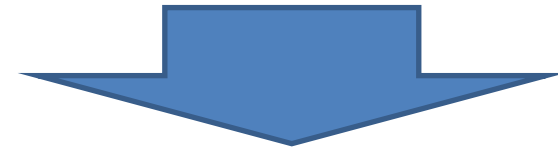
PC台数などの機器の制約

自分にはできるという勘違い病

必要性がわからない病

単位のためにイヤイヤ病

集中できない病



「講師の問題」を

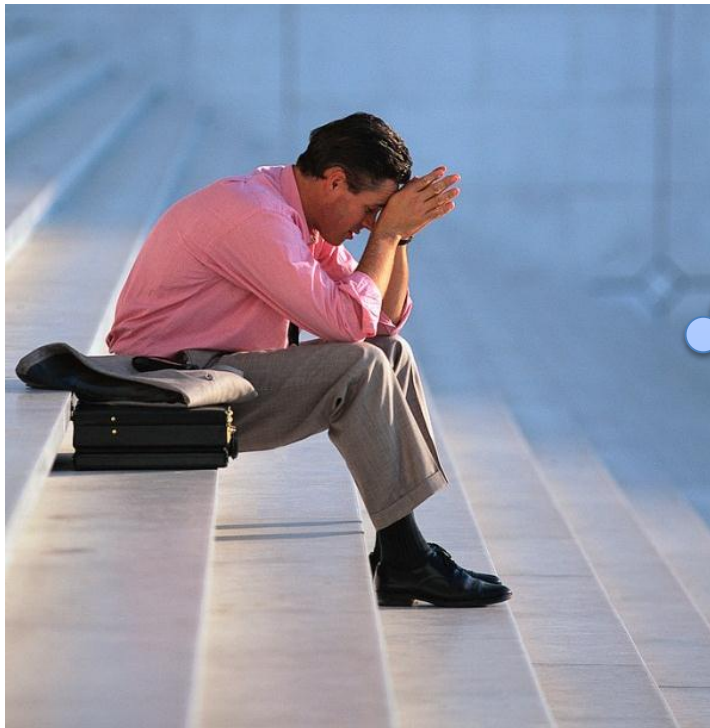
改善したら

症状が軽くなるかも！

# 講師の問題

人は忘れる生き物だ

この前やったことを  
学生が覚えてない！



ショック！

がびーん

モチベーションダウン

どうしたら  
おもしろくなる？



学生が  
達成感を  
得るようになれば  
ばいいのでは？

# らせん型でいこう

同じことを何度も教えながら、4年  
間で少しずつレベルアップ  
→目標達成



# 自分で情報を活用できる GOAL!

達成感

主体的に参加  
してほしいの♪

問いかける  
考えさせる

口頭説明型

印象づけ  
つかみ大事!

PPTを工夫

協同学習

アクティブラーニング

いろんなツールを活用

クリッカー

タブレット端末の活用

探検型

探検マップで

エリア説明カード

GET!

## 目的・ビジョンをしっかりと持って臨もう 教育学の勉強をしよう

例年通りのシナリオでなんとなくやっていますか？

- 目的・ビジョンが体系的になっていない
- 授業等を実施することが目的になってしまい  
教育効果まで考えが及ばない

→ 学生から見ると熱意がない講師



**熱意**があれば  
なんでもできる!